



## 行政相談委員に感謝状が贈呈されました

昨年11月30日(月)、大阪行政相談委員協議会より、市行政相談委員会の大野 浩さん、土原直美さんに、長年の行政相談活動に対して感謝状の贈呈がありました。行政相談は、公正中立の立場から行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、その解決や実現を促進し、行政の制度や運営の改善に生かす制度です。



このマークがついている画像は、スマートフォンなどのアプリをインストールすることで、動画も見ることができます。  
 ※動画を見るには、右記のQRコードより市のホームページにアクセスし、AR(拡張現実)技術を使った無料アプリ「Aurasma」をダウンロードしてください。  
 (アドレス) <http://www.city.izumisano.lg.jp/shiho/AR.html>



このQRコードからもアクセスできます▶



## いずみさの教育文化運動の報告

昨年12月24日(休)、エブノ泉の森小ホールで開催された「平成27年度 泉佐野市教育フォーラム」において、「授業・保育づくり研究グループ」の取組として「支えあい・学びあい・響きあい」をテーマに、グループでの学習活動や発表の仕方を工夫したりするなど、「コミュニケーション力」を育むための研究を進めていることについての報告をしました。



## 伝えよう！いのちのつながり作文表彰式

泉佐野モラロジー事務所主催の「第15回 伝えよう！いのちのつながり」のメッセージコンクールが開催され、泉佐野市長賞に日根野小学校6年の神藤祐宇さんの作文「組体を支えてくれたみなさんへ」が、教育長賞に、同じく日根野小学校5年の山本 凜さんの作文「家族にありがとう」が、泉佐野モラロジー事務所賞に第三小学校6年の中島 舞さんの作文「お母さんに感謝の言葉」がそれぞれ受賞されました。



## 30祭 in Izumisanoを開催

昨年12月27日(日)、次代を担う30歳の決意や郷土愛を喚起し、新たな門出を祝うために「30祭 in Izumisano」を関西エアポートワシントンホテルで開催しました。2014年ミス・ユニバースジャパン大阪代表の岡根安里さんなどを迎えてのファッションショーのほか、シンガーやマイケルジャクソンのそっくりさんなどによるミニライブ、抽選会などで盛り上がり、30歳代のみなさんの絆づくりとなりました。



## 空道(くうどう)全日本大会で優勝の報告

市内在住の曾山遼太さんが「2015全日本空道ジュニア選手権大会」U19男子(体力指数220以上230未満)の部に出場し、見事優勝を果たし、12月24日に市長に報告に来てくれました。



## エブノ泉の森大ホールで華やかに成人式が開催

1月11日の成人の日、エブノ泉の森大ホールにおいて泉佐野市成人式が開催され、約800人の新成人が参加しました。式典の後、豪華景品が当たる抽選会では、本市出身で泉佐野市PR大使でもあるアイドルグループ「さんみゅ〜」の西園みずずさんも新成人の一人として登場し、プレゼンターを務めました。また、会場の外では新成人たちが久しぶりに会う友人たちと記念写真を撮ったり、近況報告をしたりするなど、旧交を温めていました。



## 国際協力機構（JICA）に提案が採択

独立行政法人 国際協力機構（JICA）は、泉佐野市内で化学薬剤に頼らない精練技術によるオーガニックコットン製品を生産する奥 龍将さん（株式会社スマイリーアース取締役）が提案した「オーガニック精練技術を活用した綿花製品の付加価値向上に関する案件化調査」（アフリカのウガンダ）を採択しました。この調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術などのマッチングを行い、ODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案などを支援するため、国内の中小企業を対象に実施されています。1月14日（木）、奥さんは採択されたことを市長に報告するため、市役所を訪問されました。



## 冬休み 小学生書初め講座を開催

冬休みの宿題の定番である書初めを上手に書ける秘訣を教わる「書初め講座」が、1月5日（火）にレイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センターで開催されました。参加した子どもたちは、それぞれの作品を元気な筆さばきで書いていました。



## 新春恒例 泉佐野市消防出初め式

1月10日（日）、安全と安心の向上をめざして、消防出初め式を開催しました。今年は市役所庁舎が耐震改修工事中のため、中央小学校グラウンドで実施しました。佐野中学校吹奏楽部の演奏で、消防車や消防団・職員・幼稚園児などの行進、昨年の大阪府消防操法訓練大会において優勝を果たした消防団の南中分団による見事なポンプ車操法の披露や、一斉放水訓練などが行われました。また式典では、泉佐野市町会連合会から消防団に対し、昼夜の活動に感謝し、団員用法被130着の寄贈がありました。

